

鑄鐵の規格に関する研究題目

1. 抗張試験 a.) 成るべく簡單なる方法より正確なる試験結果を得るに如何なる装置及方法を選ぶべきや、摺みの種類、加重速度。b.) 試験片の仕上げ寸法 直徑、並行部の長さ、摺み間の距離、摺みの太さ。c.) 試験棒の鑄造方法及鑄込み寸法（試験片は本體と共鑄）鑄造寸法、縦注ぎ或は横注ぎ、湯口の太さ。
2. 抗折試験 a.) 成るべく正確なる試験結果を得るが爲めには如何なる装置及寸法を選ぶべきや枕及加重點の形狀、加重速度、撓み量の測定方法。b.) 試験片の大きさ、黒皮或は仕上げ、斷面の形狀及寸法、支點距離及全長。c.) 鑄造方法及鑄込み寸法 縦注ぎ或は横注ぎ、寸法、湯口の太さ。
3. 抗張試験と抗折試験との關係 a.) 抗折力の標準計算方法、b.) 一定荷重に於ける撓み量測定による材質検査の適否（例一水道鐵管）c.) 抗張力と抗折力との比。
4. 硬度試験 a.) 標準方法、b.) 試験片の寸法及試験箇所

開會時及場所並に議案

第 1 日 昭和 3 年 11 月 28 日午前 9 時 30 分開會

主 題 鑄鐵の材質試験法

會 場 大阪市西區新町 1 丁目大阪鐵工業同業組合會館

出 席 者 (次第不同)

日本鐵鋼協會々長	服 部 漸	大阪市大阪工業試験所	松 永 六 二
京都帝國大學教授	松 村 鶴 造	"	技師 堀 切 政 康
"	濱 部 源 治 郎	"	技手 佐 野 正 夫
九州帝國大學教授	小 野 鑑 正	"	井 上 正 次
東北帝國大學教授	砂 谷 智 導	"	技手 乘 岡 理 雄
大阪高等工業學校校長	堤 正 義	茨城縣日立製作所	技師 下 河 邊 收
大阪市關西電氣鑄鋼所主	福 武 吉 太 郎	東京市池貝鐵工所	技師 坂 田 三 一 郎
大阪市豐田織機械株式會社	瀨 尾 喜 代 三	名古屋市西區兒玉町鑄造業	久保田 長次郎
東京府日立製作所龜戶工場	天 利 義 昌	大分市安部鐵工所	都 築 博
鑄造工場係員	矢 内 敬 之 助	"	安 部 勇 藏
明石市木下鐵工所 技師長	官 本 嘉 一	大阪市汽車製造株式會社	技師長 的 場 啓 藏
大阪市大阪機械工作所 技師	川 端 駿 吾	"	設計課長 池 木 隆
京都市與村電機會社 技師	望 月 泰 一	"	研究課長 井 口 庄 之 助
八幡市安川電機會社 技師			